

# 2023 年度事業報告

自 2023 年 7 月 1 日 至 2024 年 6 月 30 日

- 【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」  
【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう」  
【基本認識】

## <乳幼児教育・保育の「質の向上」>

都市部の「待機児童」問題が、量的な向上を図る対策によって沈静化してきた途端に、「少子化」問題が惹起してきた。国が「こども家庭庁創設」や「次元の異なる少子化対策」を打ち出すなど、子ども・子育て環境は大きな変化が続きそうな様相である。

ただ、「少子化」の問題は、「出生数」などの数値的向上のみに特化できるものではなく、同時に、子どもたちの育ちをどう大切に受けとめていけるか、という社会全体の課題を深める好機でもある。

乳幼児教育・保育の現場にかかわる協会としても、数年来の課題である「質の向上」が、「少子化」を背景に、有効な形で「真宗保育」の実践に結実するよう取り組みをすすめた。

## <研修テーマ「つたえる」実践年度の延長>

通常、研修テーマの実践期間が2年間であることから、今期は異例となるが、一昨年度の「第19回全国真宗保育研修大会」(期日:2021年7月3日(土)/会場:難波別院 御堂会館)において確認された研修テーマ「つたえる」の実践年度3年目として諸事業に取り組んだ。

各加盟園の日々の保育現場において、研修テーマ「つたえる」を共有していく。

## <『「真宗保育」保育者養成テキスト』(仮称)の具体化>

また、研修テーマ同様に一昨年度から継続してきた三部門協議(真宗保育研究所、保育心理士会、研修部)から具体化された、『「真宗保育」保育者養成テキスト』(仮称)作成を継続する。「真宗保育」の言語化として、養成校での使用を念頭に置きつつ、現場の保育者にもわかりやすい形で「つたえる」ためのテキスト作りを試行した。

## <公益社団法人として公益性の確認>

当協会は、全国429施設、宗派内外の約4万人の在園児とその保護者・関係者による保育現場によって保たれてきた。それは、真宗大谷派の青少年教化事業のように、関係者に限定したものではなく、あらゆる人々を対象として取り組まれてきた流れを受け継いでいる。

新型コロナウイルス後の社会像が活発に論議されるなか、あらためて「真宗保育」を掲げる協会の公益性を展望していく。

## 【重点施策】

### (1) 『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

#### ① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

研修事業や保育実践における『真宗保育カリキュラム』の活用が増えたことで、その状況をフォローする体制が必要になっている。各部門と連携をとりながら、さらに『真宗保育カリキュラム』の普及を図り諸課題に取り組んだ。

#### ② 普及・活用のための人材養成、実践体験の還元

さまざまな乳幼児教育・保育関係者との対話によって、「真宗保育」が広く公開されていくよう、「真宗保育について語れる人」の誕生を課題としている。

また、真宗保育カリキュラムの実践を、各種研修・広報などを通じ現場に還元する場を持つことで、乳幼児教育・保育経験の情報共有を図った。

#### ③ 保育者養成のためのテキスト構想・作成

「真宗保育研究会」再開にあたって、保育者養成のためのテキスト作成を活動の基軸とする。養成校の協力をいただき、3年程度の取り組みとする。

テキスト作成の中心的役割は研究所が担い、今年度はテキストの理念や構成を養成校に提示する。

保育現場を主な対象としてきた『真宗保育カリキュラム』との差異化を図り、例えば真宗保育と「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」との関連に触れたり、「人間」をキーワードに、保育と仏教、真宗との関連を述べたりすることなどを想定する。仏教に初めて触れる学生も対象となる内容を目指す。

中断されていた「真宗保育研究会」が2022年度には再開された。研究会においては、養成校側と大谷保育協会が協働してテキストを作成する意義について確認され、内容について協議された。2023年度は、真宗保育研究会での成果も踏まえつつ、研究所で具体的な協議を進めた。

### (2) 「つたえる」をテーマとした研修計画の実践

現在の研修テーマ「つたえる」を諸研修に通底するテーマとし、さらに、各連区・支部においても同テーマでの研修開催を奨励していく。

一方で、新型コロナウイルス後の協会独自の研修の在り方を展望しながらも、国が保育者の処遇改善策として推進するキャリアアップ認定研修の増加により、真宗保育の研修機会を後回しにせざるを得ない状況が深刻である。

その現場の状況に対して、オンライン研修、対面型研修を有効に活用しながら協会独自の「真宗保育」の研修計画（仮称）を具体化に向けて検討した。

#### ① 「慶讃法要関連事業推進のためのプロジェクト」の趣旨の継続

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要にあたり、協会諸事業にかかわる人材発掘の機会となったプロジェクトを、今後の重点施策に取り組むプロジェクトとして検討を進めた。

## ② 宗派の青少年教化事業との連携

公益性をもって取り組まれてきた協会の実践や知見をもって、宗派の青少年教化事業との連携をすすめた。

## ③ 宗派の定期刊行物等での課題発信

青少年層や子育て世代が、現代社会において抱える課題は、ますます多様化し深刻なものも多い。宗派の定期刊行物などの機会を活用し公益社団法人として存在する協会としてより一層の課題発信に努めた。

### (3) 保育心理士の育成並びに活動支援の充実

#### ① 保育心理士の育成

「心によりそう保育者」を目指して 2000 年度より始まった保育心理士資格認定事業は、現在全国に 4,096 名の保育心理士を誕生させている。「保育心理士」は特許庁によって名称使用の専有が許可され認知度も向上しており、開かれた資格として社会貢献の一端を担っている。資格には 5 年以上の現場経験を有する一種と養成校において学び、現場への橋渡しとなる二種がある。

新型コロナウイルスの状況により講座開催への支障も予想されるが、加盟園を重点にオンライン開催等の方策を推進し、保育心理士育成に滞りのないようすすめた。

#### ② 保育心理士養成校の拡充

真宗大谷派学校連合会の幹事校である大谷大学をはじめ、学事施設との連携を密にし、さらに保育心理分野について、情報共有や学術的な取り組みが深まるよう養成校との関係構築、土壌整備に取り組んだ。

【(一種)同朋大学大学院、(二種)九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田女子短期大学、東亜大学、九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学】

#### ③ 保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系構築の動きに際して、当資格の人員育成を推進するために、同講座を開催している都道府県での認定手続きを進めた。

#### 【認定都道府県】

北海道、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県、熊本県、鹿児島県、宮崎県

## I-1 調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。理念、実践方法などについての研究を引き続き行う。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性をはかる。

### (1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、乳幼児教育・保育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催する。
- ② 真宗大谷派学校連合会の幹事校（大谷大学・光華女子大学・同朋大学／保育者養成校）の教員を交えて、『真宗保育カリキュラム Vol.1.1～3』の学術的表現への展開を図る。具体的には、『「真宗保育」保育者養成テキスト』（仮称）の作成を進めていく。
- ③ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を真宗保育研究所と協会各部門とが連携しながら考えていく。例えば、カリキュラムの携帯版（PDF化）についての検討、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの連携推進を図る。

### (2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催した。

#### ・第16回保育心理研究会

期 日：2024年1月28日（日）

開催形式：オンライン受講（Zoom ウェビナー）

会場受講（真宗大谷派 宗務所）

講 師：柴田 愛子氏（りんごの木 代表）

講 題：「心に添う保育」—子どもが主体的に育っていけるように—

シンポジウム：「柴田先生を囲んでの集い」

・柴田 愛子氏（りんごの木 代表）

・脇淵徹映氏（(公社)大谷保育協会顧問・保育心理会幹事）

- ② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行う。

## I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布を行った。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催した。応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行した。

保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布した。

### (1) 保育教材の頒布

#### ① 各教材の頒布

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
合掌人形 しんらんさま	550 円	320 円	-	200
うでわ念珠 青 子ども用	200 円	174 円		1000
うでわ念珠 青 大人用	200 円	184 円		1000
うでわ念珠 ピンク 子ども用	200 円	174 円		1000
うでわ念珠 ピンク 大人用	200 円	184 円		1000
白念珠	120 円	105 円	-	800
念珠袋	280 円	235 円		800
おつとめちょう	100 円	40 円	-	500
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円	-	30
八女ちょうちん	180 円	107 円	500	500
しんしゅうこどもかれんだー	270 円	238 円	6000	5500
真宗保育の源流をたずねて	200 円	186 円	-	10
真宗保育カリキュラム vol. 1	1,500 円	1,827 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol. 2	1,000 円	859 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol. 3	1,000 円	575 円	-	100
こどものうた①「誕生」CD	500 円	388 円	-	10
こどものうた②「そだつ」CD	500 円	337 円	-	0
お誕生シール<慶讃記念教材>	110 円	81 円		

#### <真宗保育ブックレットシリーズ>

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
10. 真宗と保育（一楽真）	280 円	105 円	-	100
11. いのちありがとう（真城義麿）	240 円	151 円	-	10
13. 真宗保育をデザインする（富岡量秀）	250 円	160 円	-	50
14. 唯我独尊の教え-誕生の意味-（吉元信暁）	240 円	175 円	-	50
15. 「する」から「ある」へ —養育論の試み—（芹沢俊介）	350 円	125 円	-	500
16. 真宗保育をデザインするⅡ —カリキュラム・マネジメントの視座—（富岡量秀）	300 円	165 円	-	500
17. サガエさんの「講義ノート」-真宗保育編- （佐賀枝夏文）	250 円		-	500

17. 南無阿弥陀仏の保育 (真城義麿)	350 円	230 円	1,500	500
-------------------------	-------	-------	-------	-----

## (2) 新教材の発行

- ① 園児絵画展に応募された作品で「しんしゅうこどもかれんだー」を作成した。
- ② 真宗保育ブックレットシリーズ 18「南無阿弥陀仏の保育」を発行した
- ③ 「(仮称)サガエさんに聞いてみよう (総集編)」にかかる準備を進めた。

## Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

### Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に臨めるよう研修内容をより深めていく。

各連区・支部において、協会の研修に通底する研修「つたえる」での研修開催を奨励した。

また、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を行った。

#### (1) 研究会・研修会事業

##### ① 第64回仏教保育大学講座 事前学習会

期 日：2023年7月20日（木）

形 式：対面式

参 加 者：仏教保育大学講座 指導員・生活指導員

##### ② 第64回仏教保育大学講座（浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・真宗佛光寺派・真宗興正派・真宗高田派共催/真宗大谷派当番）

誰しもが数年の保育経験によって、自分の保育に対して限界を感じたり、さまざまな悩みを持つ。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる機会とする。

日程においては、少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深めあう。

対 象：2年目以上の保育者

期 間：2023年8月1日（火）～4日（金）

会 場：真宗本廟（東本願寺）・大谷大学・三木半旅館

講 師：脇淵 徹映氏（公益社団法人大谷保育協会 元理事長/真宗大谷派 大垣教区念通寺住職）

参加人数：70名

##### ③ 新任研修会

各園の新任職員が園に従事してもつ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点を学ぶ。また、仏教行事をとおして子どもたちに伝えたいことを知る。

対 象：1年目の保育者

期 間：2023年10月27日（金）～29日（日）

会 場：真宗本廟・同朋会館

講 師：田村晃徳氏（真宗保育研究所所長・田尻徳風保育園園長）

参加人数：10名

##### ④ 主任・中堅保育者研修会（奉仕団）

保育を実践していくうえで、現場保育者の中心的存在となる主任・中堅保育者の位置づけは非常に重要である。真宗本廟を会場とし、親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、真宗保育の視座を確認し実践にいかしていく。

対 象：主任・中堅保育者（保育経験5年以上）

期 間：2024年6月14日（金）～16日（日）

会 場：真宗本廟・同朋会館

講 師：佐賀枝夏文氏（大谷大学名誉教授）

参加人数：7名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑤ カリキュラム研修会

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用のため、日々の保育現場で保育者が『カリキュラム』をテキストとして、どのように活用すべきか研修・協議することを目的として開催した。

対 象：保育者

期 日：2024年5月25日（土）

講 師：田村晃徳氏（真宗保育研究所所長・田尻徳風保育園園長）

参加人数：11名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑥ 協会主催研修のシラバスの整備

協会主催の研修（新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修会、保育心理士、カリキュラム研修会）のシラバスの作成を進め、保育者の経験年数に応じた研修の内容を充実させた。

⑦ 協会主催研修の「キャリアアップ研修」の認定取得

昨年度から各都道府県ですすめられている「保育士等キャリアアップ研修」認定に関し、協会主催研修のシラバスを活用し認定取得をめざす。また、先行して、将来、受講証明が可能となるよう、各研修の参加者に受講証を発行した。

## Ⅱ-2 資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行った。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めている。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指す。

また、2013年度から二種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き一種資格への誘導を促進する。あわせて年会費徴収の向上を目指す。

保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組む。

### (1) 保育心理士資格取得講座・フォローアップ講座

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、修了式日程以外の科目について特例としてオンライン開催とした。

#### 【本部主催資格取得講座】

##### ①京都会場

《第1～5日程・修了式》

期 間：2023年8月22日(火) から 27日(日)

形 式：対面研修

会 場：しんらん交流館・真宗大谷派宗務所

##### ②名古屋会場

《第5日程・修了式》

期 日：2023年7月22日(土)、23日(日)

形 式：対面研修

会 場：同朋大学

《第1日程～第5日程・修了式》

期 日：2024年5月18日(土)、5月19日(日)

2024年6月8日(土)、6月9日(日)

2024年6月29日(土)、6月30日(日)

##### ③オンライン講座 (A日程・B日程)

今年度から、修了式日程を除いたオンライン講座を2回転実施。

修了式については、各エリアにて実施した。

《A日程》

期 日：2023年6月3日(土)、6月24日(土)、7月15日(土)、  
7月22日(土)、9月16日(土)、10月14日(土)、  
11月4日(土)

《B日程》

期 日：2023年6月25日(日)、7月2日(日)、7月9日(日)、  
9月3日(日) 9月24日(日)、11月5日(日)、  
11月19日(日)

## 《修了式日程》

札幌エリア	2024年1月13日(土)	会場：札幌別院
仙台エリア	2023年12月17日(日)	会場：エスポワールみやぎ青年会館
関西エリア	2023年12月3日(土)	会場：真宗大谷派宗務所
福岡エリア	2023年12月17日(土)	会場：九州大谷短期大学
熊本エリア	2023年12月3日(日)	会場：大谷会館
鹿児島エリア	2023年12月13日(日)	会場：熊本教務支所

## 【本部主催フォローアップ講座】

- ①期日：2023年10月14日(土)  
講題：保育心理士としての保育デザイン、保育の本質  
講師：富岡量秀氏(大谷大学教授)
- ②期日：2024年5月12日(日)  
講題：本当の私  
講師：青木玲氏(九州大谷短期大学准教授)
- ③期日：2024年6月2日(日)  
講題：母親へのまなざし  
講師：細川美幸氏(西南学院大学准教授)

## (2) 保育心理士フォローアップ講座

5年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催  
講座開催地域を広げるため、エリア、連区、支部が主催して行った。

## (3) エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、エリア、連区、支部より申請があった場合には、申請を受理し、エリア、連区、支部が主催となって開催した。

## (4) 「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募った。

### 保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000円		
二種会員	3,000円		
賛助会員(個人・法人)	3,000円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

## (5) その他

### ① 認定に関する諸会議

#### 【保育心理士認定委員会】

期 日：2023年9月25日(月)  
2024年3月1日(金)

会 場：真宗大谷派宗務所

#### 【保育心理士会集会】第15回保育心理研究会と併催

期 日：2024年1月28日(日)

開催形式：Zoom ウェビナー

【保育心理士講師集会】

開催なし

【保育心理士会幹事会】

期日：2023年7月28日（金）

2024年2月21日（水）

2024年3月27日（水）

【エリアマネージャー会議】

期 日：2024年1月27日（土）

会 場：真宗大谷派宗務所

※オンライン（zoom）会議と併催

② 保育心理士（二種）養成校との協議会

期 日：2024年3月1日（金）

会 場：真宗大谷派宗務所

※オンライン（zoom）会議と併催

### Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を担う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

#### （１）機関誌等の配布

- ① 月刊誌「真宗保育」を頒布した。  
「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとする。
- ② 機関誌「ほいくしんり」（協会編、エイデル研究所発行）を頒布した。

#### （２）協会ウェブサイト ホームページの運営

分かりやすく、親しみのある情報発信につながるよう、コンテンツの見直し等検討を重ねた。

また、支部や加盟園で行っている活動報告を掲載するなど、協会全体で情報を共有できるよう連携を図った。

#### （３）園児絵画展

真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画を公募し、すべての作品を御正忌報恩講期間にあわせて展示した。

期 間：2023年11月15日（水）～11月28日（火）正午まで

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下・しんらん交流館  
京都駅公益地下ストリートギャラリー

対 象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児  
展 示 数：423点

#### （４）“こどものうた”事業

協会の研修テーマをもとに楽曲制作を行ってきた“こどものうた”事業は、総集編CDアルバム（2021年11月発行、全8曲収録）をもって完結。今後も保育現場のみならず、寺院における子ども会等に歌っていただけるよう引き続き広報した。

#### （５）広報・課題発信の拡充

『真宗保育』の発行、宗派の定期刊行物との連携など、さまざまな媒体を通しての広報を試行した。

#### （６）「子どもの森づくり運動」への参加

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及協力団体として、自然保護、環境学習の意識高揚に努めた。（現在、加盟園8ヶ園が参加）

### Ⅳ 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

## (1) 「令和6年能登半島地震」に伴う対応について

### ① 「令和6年能登半島地震」に伴う義援金について

2024年1月11日に「令和6年能登半島地震の対応に関する対策会議（以下、対策会議）」を設置し、加盟園に対し義援金の勧募を行った。

集められた義援金については、対策会議において協議された配分案を元に、被災地域に所在する新潟・富山・高岡・金沢・能登・小松支部の加盟園を対象とし、後日、見舞金としてお届けした。（計：34件）

### ② 能登支部の加盟園（3園）の巡回について

2024年2月22日に被災された能登支部の加盟園（3園）の巡回を実施し、被災状況の確認とお見舞いを行った。

巡回時に撮影した記録映像は、後日、加盟園を対象にYouTubeで公開した。

## (2) 人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請した。

## (3) 加盟園加入促進

未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努めた。

## (4) 各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

## (5) 「青少年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

## (6) 会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載した。

## (7) 「加盟園就職支援ポスター」の発行について

幼稚園教諭、保育士、保育教諭を目指す養成校の学生に向け、加盟園就職支援ポスターの制作を継続することを確認した。

## (8) その他事業

### ① 表彰

ア. 保育功労者表彰

イ. 退職者への感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園より報告を受け、感謝状を送付した。

ウ. 弔電

加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達した。

### ② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送付した。

## V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し組織運営の安定と活動を支える。

公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）を適時公開する等、協会の活動を

広く周知した。

**(1) 管理業務の遂行**

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行った。

**(2) 協会 I C T 環境の維持、運営**

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開した。

また、協会の I C T インフラの維持運営、協会保有データの保全に関して、機密性を維持するとともに適時改善する。

引き続き、社会的状況を受け、オンラインによる会議、研修、広報等、さまざまな可能性を各部門連携のもと試行していく。

**(3) 採用情報の提供**

幼稚園教諭、保育士、保育教諭等の人材確保に資するため、就職活動中の関係学校生対象に、協会加盟園への採用情報をポスター類やホームページを用いて提供する。特に大谷大学との連携を深めながら事業に取り組んだ。

**(4) 協会を P R するパンフレット等の作成**

当協会の活動を広く P R するため、パンフレット等の作成を検討した。

**(5) 加盟園情報の収集、管理**

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行い、定期的な加盟園名簿の改訂を行った。

**(6) 常務理事会に関する事項**

期日：2023年12月21日（木）

2024年3月27日（木）

**(7) 役員会等に関する事項**

① 理事会に関する事項

ア. 第29回（事業報告・決算承認）

期 日：2023年8月31日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第30回（次年度予算・事業計画）

期 日：2024年5月15日（水）／会場：真宗大谷派宗務所

ウ. 第12回総会

期日：2023年9月15日（金）／会場：真宗大谷派宗務所

※いずれもWEB会議（ZOOM使用）にて開催した

① 正副部所長会

期 日：2024年4月17日（水）

② 総務部会

期 日：2024年11月6日（水）

2024年3月5日（月）